

船舶事故等調査報告書

平成21年8月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009門第64号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年4月10日 14時17分ごろ	
発生場所	福岡県博多港端島灯台から真方位337°680m付近 (概位 北緯33°38.9′ 東経130°20.0′)	
事故等調査の経過	平成21年4月23日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 旅客船 きんいん2、120トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 134643、福岡県福岡市</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、五級海技士（航海）</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 左側の推進器翼の先端部を損傷</p>	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか2人が乗り組み、乗客13人を乗せて、大岳棧橋から志賀島棧橋に向け、中瀬と陸岸の間にあった漁業用のボンデンを避けて航行中、平成21年4月10日14時17分ごろ、底触して異音が発生した。浅瀬から少し離れてから停止し、確認したが異常を認めなかったため、そのまま航行し、乗客を目的地の志賀島棧橋に降ろした。</p> <p>本船は、自力で博多棧橋に向かい、潜水士による調査を行った結果、左舷側の推進器翼の先端部が損傷していた。</p>	
気象・海象	海象：潮汐 大潮で下げ潮の末期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、航行中、進路上にあったボンデンの位置を考慮した操船を適切に行わなかった可能性があると考えられる。</p> <p>船長は、午前中の運航時から中瀬と陸岸の間に漁業用のボンデン2個を認めて航行していたが、当時、干潮だったのでボンデンのロープが緩み、これを避けるため中瀬に接近した可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が端島灯台北北西方沖を航行中、進路上にあったボンデンの位置を考慮した操船を適切に行わなかったため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	